




森林タイプの分布等状況調査

評価の観点

保護林等区分	観 点	調査の 選択
森林生態系保護地域	<ul style="list-style-type: none">▶ 森林タイプの構成がどのように変化しているか。▶ 保全利用地区においては、天然生林への移行が進んでいるか。	
生物群集保護林	<ul style="list-style-type: none">▶ 同上	
希少個体群保護林	<ul style="list-style-type: none">▶ 森林タイプの構成が変化することで、対象個体群の生育・生息環境に影響が生じていないか。	
緑の回廊	<ul style="list-style-type: none">▶ 森林タイプの構成がどのように変化しているか。	-

森林タイプの分布等状況調査（資料調査）

最新の森林調査簿、国有林野施業実施計画図等を利用し、保護林情報図（森林タイプごとの面積・分布）を整理する。



手順概要



方法と留意点

1 情報収集

保護林情報図の作成に必要な資料を森林管理局または森林管理署等より入手します。

<収集する資料>

- 国有林野施業実施計画図（国土地理院の電子地図でも可）
- 国有林GISデータ（林班界、小班界）
- 森林調査簿（林種、林種の細分、林齢）
- 過去のモニタリング調査地点
- 空中写真（オルソ画像）または高分解能衛星画像（入手方法は「B. 樹種分布状況調査（リモートセンシング）」参照）
- 森林生態系多様性基礎調査や他省庁や研究機関が行っている調査地点（その他調査項目で入手した場合）

2 保護林情報図の作成

① 森林タイプの区分

GISを利用し、森林調査簿テーブルに「森林タイプ」フィールドを追加し、以下の表に沿って区分します。区分後、以下の表に沿って小班ごとに色付けを行います。

目録 森林タイプの区分

森林タイプ	区分方法	色付け
天然生林	「林種」が天然生林（「天」）の小班	緑
育成天然林	「林種」が育成複層林（「複」）または育成単層林（「単」）で、「林種細分」が育成天然林（「育天」）の小班	青
人工林 1	「林種」が育成複層林（「複」）かつ「林種細分」が育成天然林以外（「育天」以外）の小班	赤
	「林種」が育成単層林（「単」）かつ「林種細分」が育成天然林以外（「育天」以外）かつ「林齢」が21年生以上の小班	
人工林 2	「林種」が育成単層林（「単」）かつ「林種細分」が育成天然林以外（「育天」以外）の小班	黄
	「林種」が育成単層林（「単」）かつ「林種細分」が育成天然林以外（「育天」以外）かつ「林齢」が20年生以下の小班	
林地外	上記の区分に該当しない小班	灰

② 図面の作成

保護林情報図には、以下の項目を反映します。

- 国有林野施業実施計画図（国土地理院の電子地図でも可）
- 保護林の区域
- 林班界
- 森林タイプ別に区分（色付け）した小班界
- 過去のモニタリング調査地点
- 空中写真または高分解能衛星画像（GISの情報と現地状況に乖離が生じていないか等を確認する必要があると考えられた場合）
- 森林生態系多様性基礎調査や他省庁や研究機関が行っている調査地点（その他調査項目で入手した場合）
- 凡例、縮尺、方位記号等

留意事項

- ① 保護林情報図は、一般的なGISソフトで展開可能なプロジェクトファイル形式（mxdファイル（ArcGIS）もしくはqgsファイル（QGIS））で保存します。

3 保護林情報図整理表の作成

以下の項目について、様式に整理します。(様式1)

①保護林情報図

前項で作成した保護林情報図を添付します。

②森林タイプ別面積の整理

GISを利用し、森林タイプ別の面積を測定します。

留意事項

① GISで行う面積計算の結果は、森林調査簿の数値と一致しないことがあります。

③保護林部分の森林区分配置の概況の整理

保護林情報図から読み取れる保護林内の森林区分配置の概況を記入します。

④保護林周辺の状況の整理

保護林周辺についても森林タイプの区分を行った場合、森林タイプの配置の概況を記入します。

⑤その他特記事項の整理

保護林内、保護林周辺の森林タイプの配置や土地利用の状況について、気づいたことや特記事項等があれば記入します。保護林が緑の回廊と接している場合は、その旨を記入します。

⑥作成の元とした図面や収集した空中写真等の諸元の整理

空中写真等をはじめ、保護林情報図作成の際に利用したデータやソフトウェアについて、必要に応じてすぐにデータが活用できるようデータの所在、諸元、特性等を整理した上で保存しておくこと、今後モニタリングを行う上で重要な情報となります。

例えば、保護林情報図作成の元とした国有林野施業実施計画図、森林調査簿の作成年度(樹立年度)、収集した空中写真等の図郭番号等を記入します。また、森林タイプ別面積の測定方法を記入します。

※なお、モニタリング結果について、結果概要、評価・課題等を分かりやすい形で整理するため、総括整理表を作成します。(様式37または様式38)

GIS データとして整理する調査データの例

調査データ	ファイル名(例)	ファイル形式	属性情報	対応する様式
保護林情報図	保護林情報図_いろは森林生態系保護地域	シェープファイル(ポリゴン)	<ul style="list-style-type: none"> 林小班界名 林種 林種細分 森林タイプ 	-
調査地点	調査地点_森林生態系多様性基礎調査	シェープファイル(ポイント、ライン、ポリゴン)	<ul style="list-style-type: none"> 調査地点名(ID等) 調査実施年月日 その他 	-
空中写真または高分解能衛星画像	空中写真_図郭1	位置情報付きラスターデータ(GeoTIFF、ワールドファイル付きJPEG等)	<ul style="list-style-type: none"> 撮影年月日等 	-